

Stripe インサイト：世界地図で見る AI エコノミーの今

AI 支出、日本が世界上位に浮上。Stripe の決済データに見る AI グローバルエコノミー最前線

プログラマブルな金融サービスを構築する Stripe は、Stripe のプロダクトを利用中のすべての AI 企業の取引データを分析し、グローバル市場における AI エコノミーの現状を可視化。各地域の市場規模や成長性、さらには海外展開の成功を左右する要素など、ビジネスに直結するインサイトを発表しました。

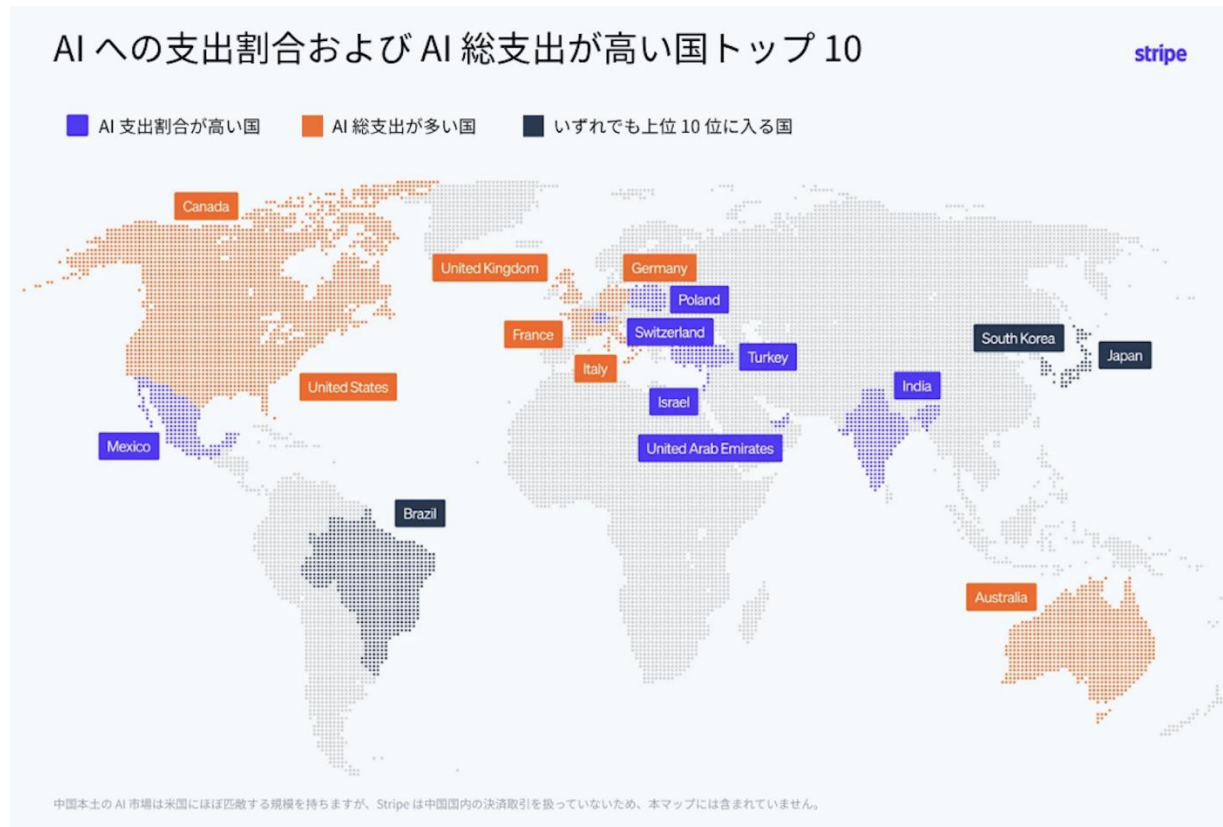
- 売上上位 100 社は事業開始から 3 年目で平均 120 カ国へ事業展開
- AI 支出の絶対額およびオンライン支出に占める割合ともに日本市場が上位に浮上
- グローバル展開成功の鍵となる「ローカライズ」で売上平均 12% 増

米 Forbes 誌が毎年選出する世界トップ AI 企業 50 社リスト「[Forbes AI 50](#)」(2026 年版) に選ばれた企業の **88%** をはじめ、数千社の AI 企業に決済インフラを提供する Stripe のデータから、現在の AI エコノミーの実態を独自の視点から捉え直すことができます。このデータは、AI 企業が世界規模で急速に事業を拡大している現状を浮き彫りにしており、売上上位 100 社は事業開始から **3 年目で平均 120 カ国へ進出**していることが確認されました。では、実際に需要が特に高いのはどの国や地域なのでしょうか。Stripe を利用するすべての AI 企業の取引データを分析し、世界地図の上に可視化したところ、Stripe 上での AI 支出額の大きさは、その国の GDP の高さと同様に連動しており、業種を問わず海外進出を図る際の有力な候補地となることがわかりました。一方で、「AI 支出の成長率が高い国」や「Stripe 上の総決済金額に対する AI 支出の割合が突出して高い国」といった追加の指標を掛け合わせることで、さらに注目すべき有望な市場が浮かび上がってきました。

グローバル展開そのものはかつてないほど容易になりましたが、**単に海外市場に進出するだけでは必ずしも収益化に繋がるわけではありません**。Stripe のデータによると、売上上位 100 社の AI 企業は、総売上の **48% を自国以外の海外市場から獲得**しています。このように持続可能なビジネスとしてグローバルな収益基盤を確立するには、各地域に合わせたプロダクトやサービスのローカライズが不可欠です。今回の地理的データ分析は、現地のマーケティング活動や

翻訳、最適な決済手段の導入など、どの市場へ優先的に投資すべきかを判断する際の有用な指針となります。

1. 突出した AI 支出で注目される新市場



AI 支出の絶対額で Stripe の上位 10 カ国に入る市場は、いずれも一般的なオンライン支出でも大規模な市場があり、グローバル貿易との結びつきが強い GDP の高い国であり、これは想定範囲内と言えます。(上図でオレンジと黒で示した国・地域)

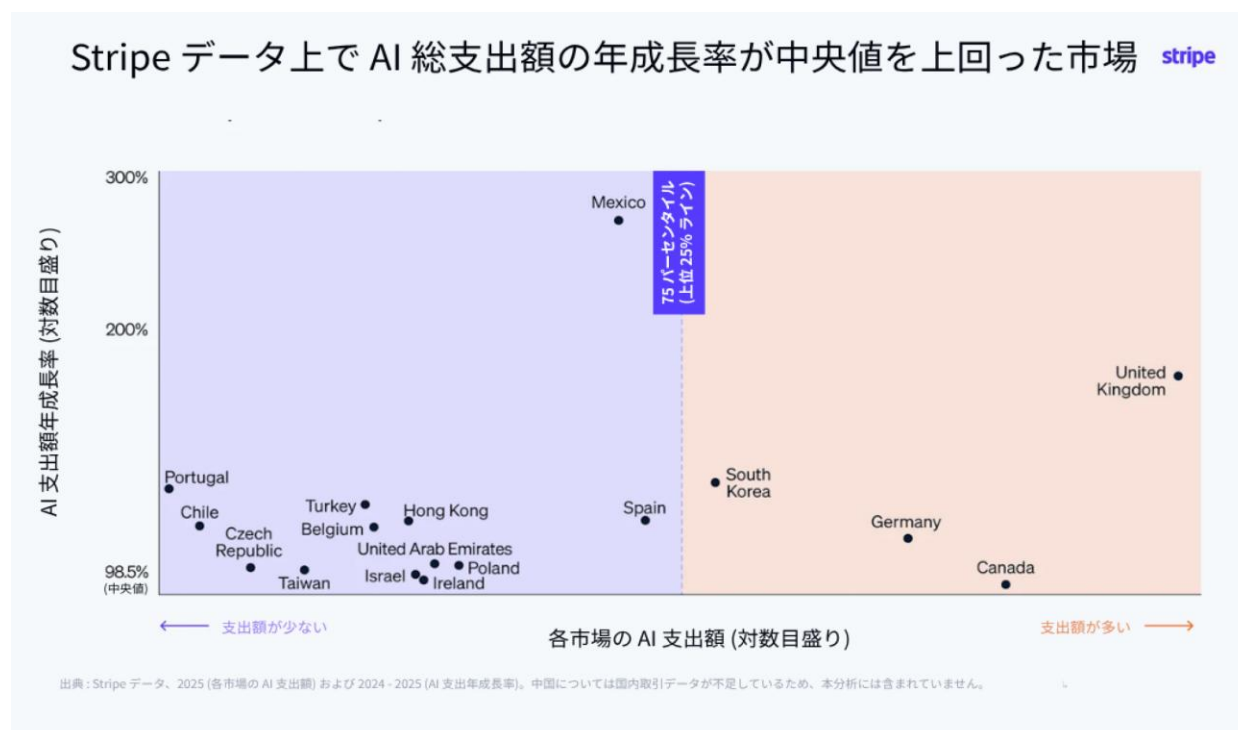
より注目すべきは、知られざる AI 高成長市場の存在です。Stripe 全体の支出に占める AI 支出の比率が突出して高い国を抽出すると、**インドやメキシコ、ポーランド、アラブ首長国連邦**が上位に浮上しました。(上図、紫で示した国・地域)

さらに、**日本および韓国、ブラジル**の 3 カ国は、AI 支出の絶対額が高いだけでなく、Stripe 上の他のオンライン支出と比べても AI 支出の割合が際立って高い「**二重の意味での上位市場**」として明らかになりました。

2. 全市場で成長率は高水準、小規模市場と成熟市場の双方でトップクラスの伸びを記録

Stripe が決済データを保有する世界各国の全市場において、AI 関連の支出は急速に拡大しています。2024 年時点で一定規模以上 (2,000 万ドル以上) の AI 支出があった **35 カ国に対象を絞って分析**した場合でも、前年比成長率の中央値は約 **100%** に達しました。市場規模が上位の国・地域の中には前年比成長率が中央値を下回る市場もありますが、絶対的な伸び率は依然として高く、**米国は前年比 91%、オーストラリアは前年比 61%** と、成熟した市場においても強い成長力を持続しています。

中央値を上回る高い成長率は、比較的規模の小さい新興市場に集中する傾向があります。しかしその一方で、すでに多額の支出が行われている成熟市場であっても、成長の減速を見せることなく高い伸び率を維持している国々が存在します。



英国やカナダ、ドイツはいずれも高い成長率を維持しています。中でも韓国は、市場の大きさ、成長率の高さ (**前年比 134%**)、そして Stripe 全体の決済金額に占める AI 支出比率の高さという、3つの要素を兼ね備えた極めて稀有な市場です。この背景には、安全性の確保と成長促進を両立させる 2026 年の「AI 基本法」をはじめとする国家政策、政府主導のスタートアップ

支援、さらには[日常的な AI の台頭に対して「期待よりも懸念が大きい」と回答した人の割合が世界で最も低い](#)という国民性などの要因が複合的に作用していると考えられます。

全体で最も目を引く成長を遂げたのはメキシコです。AI 支出の前年比成長率は **264%** と突出しており、Stripe 全体に占める AI 支出比率も高い水準にあります。米国との地理的な近接性や、[米国企業による大型投資](#)の影響を受けている可能性があります。海外進出先として、成熟した高成長国と比べて、競合がまだ少ない市場での足がかりを築ける好機と言えます。

3. グローバル展開は事業拡大の第一歩、長期成長の鍵を握るのはローカライズ

世界中で高まる AI 需要が、多くの企業に急速な事業拡大をもたらしています。その代表例が、AI エージェントプラットフォーム「[Manus](#) (マナス)」です。2025 年初頭に同社の自律型 AI エージェントサービスがソーシャルメディア上で大きな話題を呼ぶと、わずか 1 カ月後には **200 以上の国・地域**での決済受付を開始し、その **4 カ月後には年換算売上高 9,000 万ドル** (約 140 億円)を達成しました。

しかしデータが示しているのは、成長を持続させ自国以外の市場から確実な収益を得るためには、現地の市場環境に合わせたローカライズが不可欠であるということです。消費者は使い慣れた決済手段が使えないと購入をあきらめてしまう傾向があるため、進出先の国・地域に適した決済手段の導入は収益に直結します。Stripe 上で最も急速な成長を遂げている AI 企業群は、他の企業と比べて平均で **2 倍の現地決済手段**を導入しています。また [過去の分析データ](#)によると、購入時に適切な現地決済手段を提示することで、コンバージョン率が**平均 7.4% 向上**し、売上が**平均 12% 増加**することが実証されています。

適切な現地決済手段の提示による
コンバージョン率・売上の平均増加率

stripe

7.4%

コンバージョン率向上

12%

売上増加

出典: Stripe データ (適切な現地決済手段を決済画面に導入した際に得られた効果)

AIを活用したデザインプラットフォームを提供する [Gamma](#) にとっても、現地決済手段の拡充は成長の要となりました。インドのリアルタイム決済システム「UPI」を導入した結果、インド国内での売上が**22% 増加**し、現在では同社の総売上の過半数を本社所在地である米国以外の海外市場が占めるまでに至っています。

また、現地通貨での決済提供が、サブスクリプション型 AI ビジネスでも初期コンバージョン率と LTV (顧客生涯価値) の双方を押し上げることも確認されています。[過去の分析](#)では、Stripe の現地通貨・相場に合わせて価格を自動調整する機能「[Adaptive Pricing](#)」を活用しているサブスクリプション事業で、初期コンバージョン率が**平均 4.7% 向上**、LTV が**平均 5.4% 向上**という結果が出ています。



さらに大きな成果を上げるケースも出てきています。動画 AI プラットフォームの [Runway](#) は、Adaptive Pricing 導入後にサブスクリプションあたりの LTV が**最大 17.7% 向上**しました。

ストライプジャパン株式会社 代表取締役のダニエル・ヘフェルナンは次のように述べています。

「AI エコノミーは国境を超えて急速に成長しています。Stripe は AI 時代の金融インフラとして、AI 支出が高い日本企業の事業拡大や日本発 AI 企業のグローバルでの活躍をサポートしています。今後も総決済額 300 兆円に及ぶ決済を支える技術力とそのデータに基づいたインサイトで、日本企業の飛躍的な事業展開を支えてまいります。」

原文: [Mapping the AI economy](#) | 2026 年 8 月 11 日公開記事

#####

Stripe は、プログラマブルな金融サービスを構築する企業です。世界の何百万もの企業が Stripe を利用して、オンラインおよび対面での決済や組込型金融、収益モデルのカスタマイズを推進し、より収益性の高いビジネスを築いています。サンフランシスコとダブリンに本社を置く Stripe は、世界の GDP の 1.6% に相当する年間 1.9 兆 ドル (約 300 兆円) 以上の決済を処理しています。AI とステーブルコインにフォーカスを置いた事業拡大と研究開発への投資を通じて、Stripe はグローバル経済における最先端技術の普及に貢献しています。

詳しくは <https://stripe.com/jp> をご覧ください。